

中小企業 あきた

TOPICS ① 1

新たなスーパーがオープン
～協同組合東由利ショッピングプラザ～

TOPICS ② 2

コロナ禍で低迷した客足を取り戻す!

- 景況レポート6月分 4
- 組合相談コーナー 6
- 中小企業組合等支援施策情報 13
- 話題の広場
 - 中央会事業より 14
 - 新設組合紹介 15
 - 新理事長紹介 15
 - アラカルト 16
 - 支援団体活動レポート 17
 - インフォメーション 17

AKITAVISION
秋田県

2021 vol.735 8月号

トピックス1

新たなスーパーがオープン ～協同組合東由利ショッピングプラザ～



ふれあいプラザぶれっそ内にオープンしたスーパー

由利本荘市東由利地域にある協同組合東由利ショッピングプラザ(小松正二理事長、組合員数6名)では、7月1日(木)、新たなスーパーが開店しました。

当組合は、商店街や地域の核となる商業施設がなかった旧東由利町が、商業の活性化や利便性の向上を図るために道の駅の敷地内に地場産業センター「ふれあいプラザぶれっそ」を整備した際、その指定管理を受託する目的で設立された組合です。

設立当初から、核店舗として入居していたスーパーが今年3月末をもって閉店したことを受け、新しい体制を構築

するため、本会の支援事業の一環で県内スーパーに出店を打診したところ、美郷町商業協同組合の組合員でアックスフーズを展開する有限会社ミサトフーズ(檜森吉裕社長)が名乗りを上げ、組合間の連携により新規出店が実現しました。

4月末までに前スーパーが撤退作業を終えた後、ミサトフーズが開店準備を進め、去る7月1日に新規オープンしました。開店初日は、新店舗のオープンを心待ちにしていた地域住民が多数来店し、にぎわいました。

ミサトフーズでは、撤退したスーパーで働いていた従業員を一部採用した他、店内の什器などを活用させていただくなど、人的・物的資産を最大限活用することで、新店舗の出店が円滑に進められました。

また、同社は当組合に加入し、ぶれっその運営方針等について他の組合員と情報を共有し、今後共同宣伝等の組合事業を最大限活用していくこととしています。



ふれあいプラザぶれっそ

アックスフーズマートでは、肉や魚、青果などの生鮮食品をはじめ、総菜や酒、日用品など幅広い商品を扱っており、組合では、地域の人が日々の食材を買い求めたり、仕事帰りに立ち寄ったりする需要などを見据え、地域やふれっその実情に合った売場づくりをしてもらうよう働きかけています。

なお、本会では昨年度、当組合を対象に組合活力向上事業を開催し、地域住民が利用する拠点としての新たな取組や共同販売事業における売上確保をテーマに事例研究や意見交換を行い、ふれっその来客と売上の増加に向けて、組合一丸となって取り組むことを確認しております。

小松理事長は、「組合員みんなで協力して、相互扶助の精神でふれあいプラザふれっそを盛り上げていきたい。東由利にお越しの際は是非、お立ち寄りいただきたい。」と述べています。



開店当日(7/1)の様子

トピックス2

コロナ禍で低迷した客足を取り戻す！

コロナ禍により、小売業や飲食店等では、客足や売上が減少するなどの影響を受けています。

そこで、秋田県商店街・飲食店街等支援事業費補助金を活用した本会会員組合のコロナ禍に負けない前向きな取り組みをご紹介します。

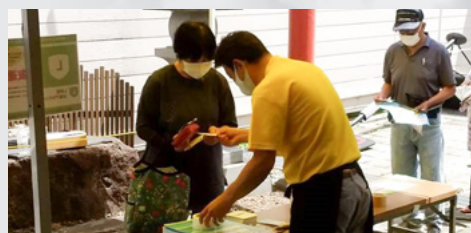
「大町・通町ウルトラプレミアム商品券」を販売 秋田市大町商店街振興組合・秋田市通町商店街振興組合

秋田市大町商店街振興組合(高堂裕理事長)と秋田市通町商店街振興組合(佐藤政則理事長)では、5,000円で10,000円分の買い物ができる「ウルトラプレミアム商品券」を販売しました。

これは、新型コロナウイルスの影響を受けている商店街を盛り上げようと、2組合が合同で企画した商品券で、500円券20枚つづりが1冊となっており、大町限定券と通町大型店限定券が各4枚、通町小規模店限定券が12枚となっています。

昨年度も同様の商品券を販売しましたが、先着順としたところ、列ができ、並んだのに買えなかった人が多かったことから、今年度は公平を期すため、事前申し込み制に変更しました。発行総数1,400冊に対し、6月21日の申し込み期限までに5,734名の応募があり、抽選の結果、738名が当選しました。

佐藤理事長は、「大町や通町には専門店がたくさんあるので、商品券をきっかけにいろいろなお店でお買い物を楽しんでもらえばうれしい。」と述べています。



商品券の販売の様子

イベントに合わせて商店街マップを作成 横手駅前商店街振興組合

7月16日(金)、横手市のJR横手駅前「よこてイースト」において、週末限定の納涼ビアガーデンが開催されました。

客足と売上を回復させ、駅前に賑わいを取り戻そうと、横手駅前商店街振興組合(齋藤善一理事長)が企画したもので、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底した上で開催されました。

当日、会場内には、特設ステージが設けられ、県内のアーティストが出演しました。

ステージの設営・運営は、コロナ禍で仕事依頼が激減している地元のイベント企画運営会社に委託して実施されました。

今回は新たに、当組合の組合員店舗とその取り扱い商品を紹介し、イベント後の個店への集客を図るため、商店街マップを作成し、イベントに合わせて配布しました。

高橋事務局長は「マップを通して駅前商店街の店舗を知ってもらい、たくさんの魅力を再発見してもらいたい。」と述べています。

このイベントは、8月7日(土)までの毎週金曜と土曜の計8日間開催されます。



イベントの様子